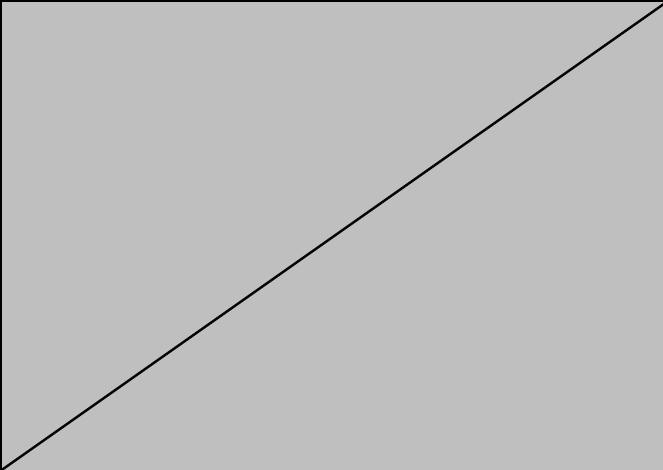


令和8年度春期 災害対策専門研修 アドバンスト／防災監・危機管理監コース

主担当：南 貴久 研究員

6月3日(水)	6月4日(木)	6月5日(金)
	(9:30～受付)	9:30～10:45 75分 危機対応組織論 河田 恵昭 人と防災未来センター センター長 ・危機対応をする上で首長を補佐する職にある人が必要とする能力について理解する。
	10:00～10:15 開講式 10:15～10:30 <u>オリエンテーション</u> 南 貴久 人と防災未来センター 研究員	
	10:30～12:00 90分 災害時のメディア対応 ～災害報道を知る～ 山崎 登 人と防災未来センター 上級研究員 (国士館大学 名誉教授) ・災害時のメディア対応を円滑に進めるために、災害報道の成り立ちや目的を理解し、メディアやその他の手段を活用して被災者と自治体業務を好転させる情報の受発信方法を学ぶ。	11:00～12:30 90分 行政対応特論 臼田 裕一郎 防災科学技術研究所 総合防災情報センター センター長 ・自治体災害対応における情報処理技術の可能性と課題について、近年の事例・動向を踏まえて理解する。
休 憩		
実地研修 ～発災後のひと、まち、なりわいを考える～ (希望者のみ) ・阪神・淡路大震災から31年を経た兵庫県内のまちの様子を現地で感じながら、復旧・復興における当事者の話を聞くことで、現在推進されている事前復興まちづくり計画における将来像を描くことにも役立つ知見を得るとともに、受講者自らが考える機会とする。 13:00～15:15 人と防災未来センター 施設見学 講話、展示解説 人と防災未来センターボランティア・スタッフ 15:15～16:15 移動 16:15～17:45 神戸市街地視察（新長田再開発地区） 山住 勝利 NPO法人ふたば／ふたば学舎 震災学習ラボ室長	13:00～14:30 90分 災害対応特論 西垣 淳子 人と防災未来センター 特別研究調査員 政策研究大学院大学特任教授 石川県前副知事 ・石川県の副知事として、当時、想定外の事態が続く中で、被災者支援にどう取り組んだかの経験を共有し、課題や教訓を学ぶ。	13:20～16:00 160分（途中休憩あり） 災害対応検討ワークショップ 高見 隆 人と防災未来センター 副センター長(総括担当) 南 貴久 人と防災未来センター 研究員 ・演習を通じて目標管理型災害対応の考え方を身につける。
	14:45～15:00 15分 自己紹介タイム	
	15:00～17:30 150分(途中休憩を含む) 自治体防災責任者の「普通の対応心得」 齋藤 富雄 関西国際大学名誉教授、兵庫県立大学客員教授 (元兵庫県防災監) ・阪神・淡路大震災から31年、あの時の教訓は活かされているか。今、大震災に立ち向かった一人として、その後の災害等への対応も含め、自身の反省事案等から学んだ普通と考えられる主な心得を提言する。	16:05～16:20 レポートタイム 16:20～16:40 閉講式
	17:30～17:45 レポートタイム	

※内容や時間帯については変更の可能性があります。

3月12日現在